

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 任天堂株式会社

コード番号 7974 URL <https://www.nintendo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 俊太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部副本部長 (氏名) 三宅 浩二 (TEL) 075-662-9600

定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	1,601,677	△5.5	504,375	△14.9	601,070	△10.4	432,768	△9.4
2022年3月期	1,695,344	△3.6	592,760	△7.5	670,813	△1.2	477,691	△0.6

(注) 包括利益 2023年3月期 486,661百万円(△8.3%) 2022年3月期 530,498百万円(0.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	371.41	—	20.0	21.8	31.5
2022年3月期	404.67	—	24.2	26.3	35.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 26,599百万円 2022年3月期 26,672百万円

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。1株当たり当期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	2,854,284	2,266,466	79.4	1,946.55
2022年3月期	2,662,384	2,069,310	77.7	1,763.56

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,266,234百万円 2022年3月期 2,069,043百万円

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。1株当たり純資産については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	322,843	111,507	△290,973	1,194,569
2022年3月期	289,661	93,699	△337,010	1,022,718

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	620.00	—	1,410.00	2,030.00	238,163	50.2	12.2
2023年3月期	—	630.00	—	123.00	—	216,546	50.1	10.0
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	147.00		50.3	

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。2023年3月期の1株当たり配当については、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しています。

※配当は、各期の利益水準を勘案し、中間と期末の年2回行うことを基本方針としています。なお、2024年3月期の連結業績予想を通期のみで作成しており、中間と期末の配当を分けて予想することができないため、年間配当金の合計のみを記載していますが、【添付資料】P.4「1. 経営成績等の概況(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」に記載の方針に従い決定します。また、2024年3月期の期末配当金については、年間配当金から中間配当金を差し引いた金額となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450,000	△9.5	450,000	△10.8	480,000	△20.1	340,000	△21.4	292.04

※注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	1,298,690,000株	2022年3月期	1,298,690,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	134,460,640株	2022年3月期	125,470,220株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	1,165,213,828株	2022年3月期	1,180,448,806株

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。発行済株式数(普通株式)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	1,409,503	△2.0	429,484	△14.0	630,172	0.0	484,634	4.8
2022年3月期	1,437,831	△2.1	499,525	△7.5	629,958	9.9	462,509	14.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2023年3月期	円 銭 415.92	円 銭 —
2022年3月期	円 銭 391.81	円 銭 —

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。1株当たり当期純利益については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	2,000,964	1,603,815	80.2	1,377.58
2022年3月期	1,857,584	1,410,447	75.9	1,202.20

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,603,815百万円 2022年3月期 1,410,447百万円

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を10株に分割しました。1株当たり純資産については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当金を含みますが、これらに限りません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。なお、予想に関連する事項については、【添付資料】P.3「1.経営成績等の概況(2)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	P. 2
(2) 今後の見通し	P. 3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(連結貸借対照表関係)	P. 12
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 12
(重要な後発事象)	P. 12
4. その他	P. 13
(1) 連結販売実績	P. 13
(2) 連結参考情報	P. 13
(3) 提出会社の主な外貨建資産及び負債	P. 14
(4) 連結販売数量及びタイトル数	P. 14
(5) 執行役員の異動	P. 15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

①当期の経営成績の概況

当期(2022年4月～2023年3月)のNintendo Switchビジネスは、『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』が2,210万本、『スプラトゥーン3』が1,067万本とそれぞれ好調な販売を記録しました。当期に発売したその他の新作タイトルも、『Nintendo Switch Sports』が960万本の販売となるなど、順調に販売を伸ばしました。加えて、前期以前に発売したタイトルのうち『マリオカート8 デラックス』が845万本(累計販売本数5,379万本)、『星のカービィ ディスカバリー』が381万本(累計販売本数646万本)の販売を記録しました。これらの結果、当期のミリオンセラータイトルはソフトメーカー様のタイトルも含めて35タイトルとなりました。

ハードウェアに関しては、半導体部品等の供給不足によって夏の終わりごろまで生産が影響を受けたことに加え、主に年末商戦で前期ほどの販売の伸びが見られなかったことから、販売台数は前期比22.1%減の1,797万台となりました。ソフトウェアは安定した販売状況が続いたものの、ハードウェアの販売減の影響を一部受け、販売本数は前期比9.0%減の2億1,396万本となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、円安による為替の影響に加え、Nintendo Switchのパッケージ併売ダウンロードソフトが好調に推移したことやNintendo Switch Onlineによる売上が増加したことなどにより、デジタル売上高は4,052億円(前期比12.7%増)となりました。

モバイル・IP関連収入等については、ロイヤリティ収入は増加しましたが、スマートデバイス向け課金収入が減少したことで、売上高は510億円(前期比4.3%減)となりました。

これらの状況により、売上高は1兆6,016億円(うち、海外売上高1兆2,360億円、海外売上高比率77.2%)、営業利益は5,043億円、経常利益は6,010億円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,327億円となりました。

②当期の財政状態の概況

総資産は、主に現金及び預金や有価証券などが増加したことにより、前期に比べ1,918億円増加し、2兆8,542億円となりました。負債は、主に前受金などが増加したものの、未払法人税などが減少したことにより、前期に比べ52億円減少し、5,878億円となりました。純資産は、前期に比べ1,971億円増加し、2兆2,664億円となりました。

③当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前期末から1,718億円増加(前年同期は906億円の増加)し、1兆1,945億円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とその要因は次のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益6,007億円に対して、主に法人税等の支払いや円安による為替の影響、棚卸資産の増加などの減少要因がありましたが、売上債権の減少などの増加要因により、3,228億円の増加(前年同期は2,896億円の増加)となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、定期預金の払戻しや有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が、定期預金の預入や有価証券及び投資有価証券の取得による支出を上回ったことなどにより、1,115億円の増加(前年同期は936億円の増加)となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、主に配当金の支払いや自己株式の取得による支出により2,909億円の減少(前年同期は3,370億円の減少)となりました。

(2) 今後の見通し

ハードウェアでは、Nintendo Switchの魅力をお伝えし続けることで、「一家に一台」から「一家に複数台」、さらには「一人に一台」の普及を目指します。また、より多くのお客様に、より長くNintendo Switchを遊んでいただけるように、継続してユニークな提案を行い、販売の最大化を目指します。ソフトウェアでは、『ゼルダの伝説 ティアーズ オブ ザ キングダム』（5月）、『Pikmin 4』（7月）を発売するほか、『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』の追加コンテンツ『ゼロの秘宝』の前編・「碧の仮面」を2023年秋に、後編・「藍の円盤」を2023年冬以降に配信する予定です。また、ソフトメーカー様からもバラエティに富んだタイトルの発売が予定されており、発売済みのタイトルに加えて新規タイトルや追加コンテンツを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化に努めます。

その他、「任天堂IPに触れる人口の拡大」の取り組みとして、4月に『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』が公開されています。このような取り組みを通じて当社の中核ビジネスであるゲーム専用機ビジネスの持続的な成長につなげていきます。

次期の業績については売上高1兆4,500億円、営業利益4,500億円、経常利益4,800億円、親会社株主に帰属する当期純利益3,400億円を見込んでいます。

計算の前提となる主要製品の予想販売数量については、本資料14ページ「4. その他（4）連結販売数量及びタイトル数」に記載しています。また、主要外貨の為替レート的前提は1USドル=130円、1ユーロ=135円としています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果（実際の業績及び配当金を含みますが、これらに限りません。）は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、会社の成長に必要な研究開発や設備投資等を内部留保資金でまかなうことを原則とし、将来の経営環境の変化への対応や、厳しい競争に勝ち抜くため、財務面での健全性を維持しつつ、株主の皆様への直接的な利益還元については、各期の利益水準を勘案した配当により実施することを基本方針としています。

具体的な配当の算出については、連結営業利益の33%を配当金総額の基準とし、期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満（株式分割前は10円未満）を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向50%を基準として1円未満（株式分割前は10円未満）を切り上げた金額の、いずれか高い方を、1株当たり年間配当金として決定します。

第2四半期（中間）の配当については、第2四半期累計期間の連結営業利益の33%を第2四半期末の配当金総額の基準とし、この時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満（株式分割前は10円未満）を切り上げた金額を1株当たり中間配当金とすることにしています。

この結果、当期の配当は、1株当たり中間配当金630円及び1株当たり期末配当金123円となります。なお、当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。中間配当金は株式分割前の1株当たり配当金の金額を記載し、期末配当金は株式分割後の1株当たり配当金の金額を記載しています。当連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定した場合、1株当たり年間配当金は186円（中間63円、期末123円）となります。

内部留保した資金は、斬新で魅力ある製品を継続して提供するための必要資金として、また、新技術の研究や新企画の商品及びサービスの開発、生産体制の拡充及び原材料の確保、広告宣伝を含めた販売力及びネットワークインフラの強化のほか、必要に応じた自己株式の買入れ等にも、有効に活用していきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は国際会計基準とのコンバージェンスが図られている日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、将来において国際会計基準を選択する可能性も鑑み、外部機関が主催するセミナーに参加するなど情報収集を行うとともに、様々な検討を進めています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,206,506	1,263,666
受取手形及び売掛金	141,087	119,932
有価証券	504,385	615,699
棚卸資産	204,183	258,628
その他	70,147	56,822
貸倒引当金	△98	△236
流動資産合計	2,126,212	2,314,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,571	45,451
工具、器具及び備品（純額）	4,498	5,229
機械装置及び運搬具（純額）	1,477	1,520
土地	35,337	40,995
建設仮勘定	1,280	6,311
有形固定資産合計	85,164	99,509
無形固定資産		
ソフトウェア	10,241	10,205
その他	7,073	8,390
無形固定資産合計	17,315	18,595
投資その他の資産		
投資有価証券	312,663	276,253
退職給付に係る資産	8,597	8,911
繰延税金資産	87,996	103,670
その他	24,434	32,830
投資その他の資産合計	433,692	421,666
固定資産合計	536,172	539,770
資産合計	2,662,384	2,854,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,910	149,217
前受金	131,139	160,758
賞与引当金	5,459	4,219
未払法人税等	99,520	82,550
その他	153,696	136,734
流動負債合計	540,726	533,480
固定負債		
取締役報酬引当金	—	133
退職給付に係る負債	25,063	23,084
その他	27,284	31,119
固定負債合計	52,347	54,337
負債合計	593,074	587,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	15,041	15,079
利益剰余金	2,198,706	2,392,704
自己株式	△220,343	△271,049
株主資本合計	2,003,469	2,146,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,199	28,028
為替換算調整勘定	32,373	91,406
その他の包括利益累計額合計	65,573	119,435
非支配株主持分	266	232
純資産合計	2,069,310	2,266,466
負債純資産合計	2,662,384	2,854,284

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,695,344	1,601,677
売上原価	749,299	716,237
売上総利益	946,044	885,440
販売費及び一般管理費	353,283	381,065
営業利益	592,760	504,375
営業外収益		
受取利息	3,317	25,499
持分法による投資利益	26,672	26,599
為替差益	45,626	39,720
その他	3,169	5,514
営業外収益合計	78,786	97,333
営業外費用		
支払利息	281	122
有価証券売却損	42	121
投資有価証券評価損	—	362
その他	409	30
営業外費用合計	733	637
経常利益	670,813	601,070
特別利益		
固定資産売却益	1	48
投資有価証券売却益	347	20
受取和解金	3,300	—
特別利益合計	3,648	68
特別損失		
固定資産処分損	73	382
特別損失合計	73	382
税金等調整前当期純利益	674,389	600,757
法人税、住民税及び事業税	200,469	180,110
法人税等調整額	△3,794	△12,153
法人税等合計	196,674	167,957
当期純利益	477,714	432,800
非支配株主に帰属する当期純利益	22	32
親会社株主に帰属する当期純利益	477,691	432,768

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	477,714	432,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△417	△5,068
為替換算調整勘定	49,777	51,814
持分法適用会社に対する持分相当額	3,424	7,115
その他の包括利益合計	52,784	53,861
包括利益	530,498	486,661
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	530,476	486,629
非支配株主に係る包括利益	22	32

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,065	15,043	1,993,325	△156,851	1,861,582
当期変動額					
剰余金の配当			△240,702		△240,702
親会社株主に帰属する 当期純利益			477,691		477,691
自己株式の取得				△95,100	△95,100
自己株式の処分					—
自己株式の消却		△1	△31,607	31,608	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1	205,380	△63,492	141,887
当期末残高	10,065	15,041	2,198,706	△220,343	2,003,469

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	33,571	△20,782	12,788	243	1,874,614
当期変動額					
剰余金の配当					△240,702
親会社株主に帰属する 当期純利益					477,691
自己株式の取得					△95,100
自己株式の処分					—
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△371	53,156	52,784	22	52,807
当期変動額合計	△371	53,156	52,784	22	194,695
当期末残高	33,199	32,373	65,573	266	2,069,310

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,065	15,041	2,198,706	△220,343	2,003,469
当期変動額					
剰余金の配当			△238,770		△238,770
親会社株主に帰属する 当期純利益			432,768		432,768
自己株式の取得				△50,725	△50,725
自己株式の処分		37		19	56
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	37	193,997	△50,705	143,329
当期末残高	10,065	15,079	2,392,704	△271,049	2,146,798

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	33,199	32,373	65,573	266	2,069,310
当期変動額					
剰余金の配当					△238,770
親会社株主に帰属する 当期純利益					432,768
自己株式の取得					△50,725
自己株式の処分					56
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△5,171	59,032	53,861	△34	53,827
当期変動額合計	△5,171	59,032	53,861	△34	197,156
当期末残高	28,028	91,406	119,435	232	2,266,466

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	674,389	600,757
減価償却費	10,527	11,040
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	74
受取利息及び受取配当金	△4,525	△27,369
為替差損益 (△は益)	△57,324	△54,260
持分法による投資損益 (△は益)	△26,672	△26,599
売上債権の増減額 (△は増加)	8,134	31,513
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84,563	△45,792
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,125	9,025
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,575	△3,826
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,824	△358
その他	3,307	△6,070
小計	549,112	488,134
利息及び配当金の受取額	4,862	24,455
利息の支払額	△281	△131
法人税等の支払額	△264,031	△189,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,661	322,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△943,319	△724,691
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,015,200	729,907
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,587	△22,190
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	94
定期預金の預入による支出	△354,500	△580,310
定期預金の払戻による収入	383,921	708,299
その他	△21	398
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,699	111,507
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△95,350	△50,733
配当金の支払額	△240,560	△238,700
その他	△1,099	△1,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	△337,010	△290,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,288	28,474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,638	171,851
現金及び現金同等物の期首残高	932,079	1,022,718
現金及び現金同等物の期末残高	1,022,718	1,194,569

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
減価償却累計額	78,988百万円	82,563百万円

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
現金及び預金勘定	1,206,506百万円	1,263,666百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	△304,527百万円	△210,061百万円
取得日から3か月以内に 償還期限の到来する短期投資	120,739百万円	140,964百万円
現金及び現金同等物	1,022,718百万円	1,194,569百万円

(セグメント情報)

当社グループ(当社及び連結子会社)は単一セグメントのため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,763.56	1,946.55
1株当たり当期純利益 (円)	404.67	371.41

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しています。

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	477,691	432,768
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	477,691	432,768
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,180,448	1,165,213

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 連結販売実績

(単位：百万円)

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		日本	米大陸	欧州	その他	合計
	ゲーム専用機	342,946	672,816	390,463	138,693	1,544,920
	うち Nintendo Switchプラットフォーム ※1	326,964	660,576	385,172	136,488	1,509,202
	うち その他 ※2	15,982	12,240	5,290	2,205	35,718
	モバイル・IP関連収入等 ※3	18,746	26,385	4,426	1,508	51,067
	その他(トランプ他)	3,954	1,727	—	7	5,689
	合計	365,647	700,929	394,890	140,210	1,601,677

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		日本	米大陸	欧州	その他	合計
	ゲーム専用機	338,166	708,382	419,012	173,666	1,639,227
	うち Nintendo Switchプラットフォーム ※1	324,877	694,890	412,482	170,475	1,602,725
	うち その他 ※2	13,289	13,492	6,529	3,191	36,502
	モバイル・IP関連収入等 ※3	18,907	27,467	4,773	2,193	53,342
	その他(トランプ他)	1,783	987	—	2	2,773
	合計	358,857	736,837	423,786	175,862	1,695,344

(参考) ゲーム専用機に含まれるデジタル売上高 ※4 当連結会計年度 4,052億円、前連結会計年度 3,596億円

※1 Nintendo Switchプラットフォームの内訳は、ハード・ソフト(パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ、Nintendo Switch Online含む)・アクセサリです。

※2 Nintendo Switch以外のゲームプラットフォームやamiibo等です。

※3 スマートデバイス向け課金収入、ロイヤリティ収入等です。

※4 パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ、Nintendo Switch Online等の売上高です。

(2) 連結参考情報

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	翌連結会計年度(予想) (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
設備投資額	16,766	33,933	40,000
有形固定資産減価償却額	6,046	6,404	7,000
研究開発費	102,199	110,015	120,000
広告宣伝費	93,838	94,984	95,000
従業員数(年度末)	6,717人	7,317人	—
期中平均レート			
1USドル =	112.34円	135.38円	130.00円
1ユーロ =	130.50円	140.82円	135.00円
連結USドル建売上高	63億USドル	48億USドル	—
連結ユーロ建売上高	31億ユーロ	27億ユーロ	—
提出会社のUSドル建仕入高	58億USドル	43億USドル	—

(3) 提出会社の主な外貨建資産及び負債

(単位：百万USドル、百万ユーロ)

	前事業年度末 (2022年3月31日現在)		当事業年度末 (2023年3月31日現在)		翌事業年度末(予想) (2024年3月31日現在)
	残高	為替レート	残高	為替レート	前提為替レート
USドル建	現預金	3,125	2,560		
	売掛金	828	893	133.00円	130.00円
	買掛金	827	816		
ユーロ建	現預金	381	199	144.67円	135.00円
	売掛金	575	663		

(4) 連結販売数量及びタイトル数

販売数(単位:万台・万本)
タイトル数(単位:本)

		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		累計	翌連結会計年度(予想) (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
Nintendo Switch							
	ハード(全体)						
		国内	519	437	2,959		
		米大陸	876	697	4,900		
		欧州	602	498	3,258		
		その他	309	165	1,444		
		計	2,306	1,797	12,562		1,500
	うち Nintendo Switch	国内	256	95	1,973		
		米大陸	522	267	3,475		
		欧州	404	211	2,426		
		その他	174	40	1,084		
		計	1,356	614	8,958		
	うち Nintendo Switch (有機ELモデル)	国内	161	284	445		
		米大陸	194	288	482		
		欧州	112	238	350		
		その他	113	112	225		
		計	580	922	1,502		
	うち Nintendo Switch Lite	国内	102	58	541		
		米大陸	159	142	942		
		欧州	86	49	482		
		その他	22	13	136		
		計	370	262	2,102		
	ソフト	国内	4,214	4,579	20,015		
		米大陸	10,827	8,700	45,627		
		欧州	6,578	6,298	30,091		
		その他	1,888	1,820	7,882		
		計	23,507	21,396	103,615		18,000
	タイトル数	国内	327	350	1,526		
		米大陸	361	461	1,868		
		欧州	382	402	1,819		

- (注) 1 ソフトの販売数量は、パッケージソフト及びパッケージ併売ダウンロードソフトの数量であり、ダウンロード専用ソフト及び追加コンテンツは含みません。
- 2 ソフトのタイトル数は、パッケージソフトの本数です。
- 3 ソフトの販売数量実績は、ハード等と同梱して販売した数量を含みます。
- 4 ソフトの販売数量予想は、ハード等と同梱して販売する数量を含みません。

(5) 執行役員の異動 (2023年6月23日付)

①新任予定執行役員

くらつね よしあき
倉恒 良彰

(新 執行役員
グローバルコミュニケーション本部長)
(現 グローバルコミュニケーション本部 副本部長)

②退任予定執行役員

やまと さとし
大和 聡

(現 上席執行役員
任天堂販売株式会社 代表取締役社長)

※上席執行役員 大和 聡は顧問に就任予定。なお、2023年6月開催予定の任天堂販売株式会社 定時株主総会終結時をもって、同社 代表取締役社長も任期満了により退任予定。

③執行役員の役付変更

べつぷ ゆうすけ
別府 裕介

(新 上席執行役員、経営企画室長)
(現 執行役員、経営企画室長)

※本異動につきましては、2023年6月23日開催予定の取締役会決議を経て、正式に決定します。